

おいおい図書館

No.129

発行 おいおい図書館
代表 青木和子
松戸市牧の原1-104-416
TEL 047-311-0386

丸一年経ってしまいましたが
順次報告致します。

千葉県内図書館関係団体連絡会

第五回交流会に参加して

報告 青木和子

2008年1月27日(日)、君津市立中央図書館会議室で開催されました。

図書館はJR君津駅から徒歩15分程の所にあります。クルマ社会の所為か、街を歩いてくる人は少ないと感じましたが、図書館に着くと館内にはたくさんの方が利用者が！良い図書館があれば、人々は足を運ぶのたと実感しました。

先ず館長の挨拶の後、館内を1時間程見学しました。広々と開放

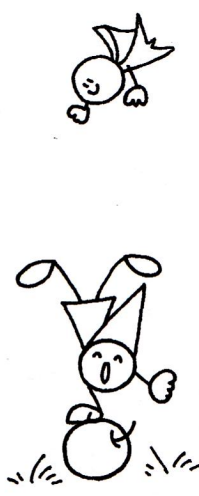
的閲覧室に、またまたため息をつくばかりでした。

その後、各地のグループからの報告がありました。

柏は、新図書館建設計画について、市川は、友の会活動について、浦安は、司書職員の採用があったこと。図書館開館25周年記念事業について。千葉は、要望書提出などの活動について。君津は、学校図書が全校配置されたこと。5周年記念事業について。松戸は「おはなしキャンパス」予算についてなど。

常世田さんは、指定管理者制度導入について国の中央省庁では「何でも民間委託」を見直す方向に変わってきていることや、

「図書館に指定管理者制度導入はふさわしくない」という行革大臣の国会答弁を紹介されました。今年も半年に一度のペースで交流会を続けることを確認し、次回は6月28日(土)、担当は浦安図書館の会、会場は浦安市立中央図書館と決まりました。



神奈川の図書館を考えるついでに
みんなの図書館が危ない!!
報告 青木和子

2008年2月2日(土)、横浜市青葉区山内地区センターで、緊急集会が開かれました。
横浜市は地域図書館に指定管理者制度を導入し、他の地域図書館

は順次窓口業務の委託化を推進する計画を決定。これにより「みんなの図書館」はどうかなるのか?と。文部科学省「これからの図書館の在り方検討協力者会議」委員の常世田良さんの講演「図書館が横決を救う」と、パネルディスカッションが行われました。

常世田さんは「高齢化・少子化国際化・そして自己判断・自己責任など、日本の歴史的な変化の時代に、日本全体の変化・地域の変化の方向性をみずえて、地域のニーズに合った図書館を作っていくべきだ。

図書館とは、市民がしあわせに豊かに自己実現できるためのもの。運営は多様でもよいが、「質の向上」をのぞくべきだ。

国の中央省庁は、指定管理者制度を見直す動きを示している。

コスト削減をのぞくあまり、一定のサービスを維持するために必

要な経費を削るべきではないなどと話されました。

専門の司書職員を毎年採用し、先進的なサービスを提供していた横浜市に、どうして指定管理者制度導入の問題が起きてしまったのか?

唐突に思えるこの問題を受けて、神奈川県内外から参集した市民の行動力を頼もしく思う一方、行政側の姿勢には大きな疑問を感じました。



本を囲んで、おしゃべり会

報告 青木和子

2月23日(土)の定例会は、参加

者それぞれが「好きな本」「おすすめの本」を持ち寄って、おしゃべり会をしました。

本を囲んで話がはずみ、とても楽しい時を過ごしました。またの機会が楽しみです。

持ち寄った本を紹介します。

・時刻表

・解夏、精霊流し(さだまさし)

・卵の緒、図書館の神様(瀬尾まこと)

・からくりからくさ、西の魔女が死んだ (梨木香歩)

・希望を植えて幸福を育てた男 (須賀敦子全集)

・カマゴツの兄弟(亀山郁男訳)

・そしてねずみ女房は星をみた (清水真沙子)

・くもの日記ちよう(長瀬太)

・ラーマーヤナ(山本まつよ)



二〇〇八年三月

松戸市議会傍聴記

報告 伊藤和子

3月4日(火)の午後、山中議員の質問を聴きに行つて来ました。松戸市議会は学芸会のように、あまり行きたくないのですが、今回は面白そうなので出掛けました。

少し早かったので、本郷谷氏からでした。彼の声を一年半ぶりに聞いた訳ですが、市の税金の使い方を見たいという公約は、どこへ行つてしまったのでしよう？ それを少しでもやってくれれば、と思うのですが……

一人会派に与えられた時間は30分なので大した質問はできない、という山中議員の話でしたが、具体的に盛りだくさんの質問でした。もしも彼の質問の意味を議会・行政側が本気で取り上げ、一人会

派でも特別委員会委員になれるようにするとか、質問の時間を長くするとか、少しでも現状を変えらるきっかけになれば、彼の存在は大きいし貴重だと思ひました。

「おはなしキャンパシ」について、その役目が終わったから、来年度は廃止するそうです。

この件については少し前に発表されましたが、如何にも唐突です。詳しい説明もなく不明瞭極まりなし。今まで毎年何千万円も使っていたのは一体何だったのか？とアキレます。

山中議員の質問は、その減額分を本来の図書館費に戻すかどうか？でしたが、それについて判然とした答えはありませんでした。

次の予算委員会でも、ぜひ取り上げてほしいと思ひます。

最後の高橋義雄議員の質問も、

具体的におもしろかった。新松戸北小学校跡地問題で、坪40万円×400坪＝総額16億円とみられる貴重な場所だから、有効に使つてもらいたい。

先年、草加市、竹の塚北小学校の跡地利用の現状を視察してきたが、実に素晴らしい福祉の拠点になつていて、高齢者や重度身体障害の人達にもそれぞれに対応して、雇用も増えている。

その街の住民が生き生きと働きながら生涯を暮らせる場、行政と住民が協力して作り上げる場には、きないのか？と、自分もそういう所で死にたい！と、正に本音の提案だつたと思ひます。

税金は、住民達の生き甲斐と幸せを守るために使つてもらいたい。貴重な里山をつぶすために使つて欲しくない！と痛感させられた議会傍聴でした。

松戸市 平成20年度 教育関係予算

(千円)

	本年度	前年度	比較
教育費	13735.525	12928.044	807.481
教育総務費	2340.215	2229.888	110.327
小学校費	1991.033	1948.634	42.399
中学校費	2216.363	1766.067	450.296
高等学校費	805.918	798.641	7.277
幼稚園費	758.058	745.404	12.654
社会教育費	2388.483	2452.989	△ 64.506
保健体育費	3235.455	2986.421	249.034
図書館費	291.056	296.498	△ 5.442
図書館管理運営事業	244.129	241.211	2.918
図書等購入費	69.148	67.168	1.980
貸出等管理業務	15.455	16.860	△ 1.405
受付業務	94.204	92.454	1.750
施設維持貸出業務	21.323	20.361	962
身体障害者図書管理業務	1.429	1.619	△ 190
講座等行事開催業務	285	287	△ 2
広報業務	50	56	△ 6
情報化推進業務	42.235	42.406	△ 171
幼児・児童の読書普及事業	46.927	55.287	△ 8.360
おはつしキャラバン事業委託業務	45.972	54.011	△ 8.039
読書普及活動業務	955	1.022	△ 67
おはつしフェスティバル補助金	0	254	△ 254
松戸子どもの本ネットワーク	—	0	—

